

ひゅーまんねつとわーく



2006年1月 発行 / 第24号

社会福祉法人北摂杉の子会 萩の杜 ジョブサイトひむろ 社会福祉法人北摂杉の子会後援会 萩の杜家族会 ジョブサイトひむろ家族会
〒569-1054 大阪府高槻市大字萩谷14番地1 TEL 072-699-0099 FAX 072-699-0130 haginomori@nifty.com

あけましておめでとうございます



平成17年度 萩の杜

新規入所者のお二人



池田直治さん



徳永優利さん



新年のご挨拶

社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 ^{いま} ^{むら} ^{かず} ^ふ ^み
今 村 一二三

新しい年の初めにあたり新春のお慶びを申し上げます。

皆様には日頃より当法人および当法人の運営します施設・事業に対しまして、格別のご理解とご支援を賜っておりますこと深く感謝申し上げます。

さて私ども社会福祉法人北摂杉の子会は、平成10年2月の開設以来この8年間に色々な施設を創設し、また色々な事業を展開して参りました。それも偏えに皆様のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

昨年、今年の当法人の動き等をご報告し新年のご挨拶とさせていただきます。

(1) 昨年を振り返って

昨年は4月より4つの新しい事業をスタートさせました。

①知的障害者通所授産施設「ジョブサイト(J S)ひむろ」の創設
「萩の杜」の分場であった「工房ひむろ南」と「工房ひむろ北」とを統合し、新たに知的障害者通所授産施設「ジョブサイト(J S)ひむろ」としてスタートを切りました。これは新しく利用を希望する人たちのニーズに応え定員を40名に増員する共に、一層のサービス向上・運営の効率化を目指すところにその目的があります。

②「グループホームみやた」の開設

2つめのグループホームとして「グループホームみやた」を開設しました。これまでグループホームはまだ1カ所しかなく、高まる要望に応じて宮田町にマンションを借りてスタート致しました。

グループホームは入所施設の新たな建設が極めて難しい中、その代替としての役割が大きくなるものと考えておりましたが、今回の「障害者自立支援法」の成立によって、そのあり方が変わる可能性が高くその成行を見守っているところです。

③児童デイサービス「自閉症療育センターwill」の開設

大阪府から委託を受けて平成15年にスタートした自閉症児の療育は、「大阪府発達障害者支援センター(アクトおおさか)」に併設する形で実施しておりましたが、支援費の対象となる児童デイサービス事業として新たにスタート致しました。

同時に療育の場所も、「アクトおおさか」と共に、距離的にも駅に近く、南に面した明るい場所に移転し、通ってくる子供達や保護者の方から好評を得ております。

④自活訓練事業の開始

入所施設である萩の杜の利用者が、地域生活へ移行するための訓練として、グループホームでの生活と同じ形で市内にアパートを借りてスタートしたもので、現在2名の利用者が訓練中です。

これに併せて、萩の杜の利用者が地域での生活を始めて

も、その暮らしに不安や問題が生じた場合に再び萩の杜で受け入れることができるように、復帰専用居室2室の整備も行いました。

(2) 今年に向けて

①知的障害者通所授産施設「ジョブサイト(J S)よど」の開所
かねて大阪市淀川区十三に建設中の知的障害者通所授産施設「ジョブサイト(J S)よど」が昨年11月に完成し、この4月に開所する予定で準備を進めております。この建物は5階建て延べ面積は732㎡で、モダンな設計に基づく陽光いっぱい明るい建物です。定員33名で、できれば自閉症者に特化した施設にしたいと考えております。

陶芸、調理、パソコン等の作業を予定しております。

②「児童デイサービスセンターan」の移設

大阪市長居で13年余の歴史を持つ児童療育の拠点である「児童デイサービスセンターan」を「大阪自閉症支援センター」と共に、「ジョブサイト(J S)よど」と同じ建物内に移転・併設し、4月開所を予定しています。

このことによって十三のこの場所が、幼児期の療育と成人期のケアを一緒に行うこととなり、自閉症の人達にとっての大きなサービス拠点になることを期待しております。

③「障害者自立支援法」への対応

賛否両論渦巻く中、この法案は成立しました。

確かにこれまで蚊帳の外に置かれた感のあった精神障害者が、知的障害者、身体障害者と同じ範疇で論じられるようになる等プラスの面も多くあります。一方で利用者の自己負担が大きく増加し、「自立支援法」という名とは裏腹に障害者の自立を阻害する要因を孕んでおり、大きなマイナスの面を併せ持った法律です。

とは言っても、この時点では詳細について決定されていない部分も大きく、今後の成行きを見守っていく必要があります。その詳細が決定されれば、例えば法人の運営にどう影響があるのか、「ケアホーム」や「グループホーム」はどうなるのか、あるいは作業所の形態はどうなるのか、また自己負担の増える利用者の活動にどう影響してくるのか、等々直ちに検討に着手しなければならない案件も数多く想定され、今年における最大のテーマであることには間違いありません。

私どもの活動の根底は、障害のある利用者の生活がよりよいものになるよう向上を図ることにあります。私どもはそれに向かって一層の努力を傾注していく積りでございますが、皆様におかれましても、今後とも私どもの活動にご理解・ご支援を戴くと共に、ご意見、アドバイスを戴くことをお願い致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

「将来構想検討委員会」からの報告

自閉症関連事業検討委員会の中間報告



【はじめに】

当法人内で自閉症に特化した事業を担当している自閉症支援部は現在、①大阪府発達障害者支援センター「アクトおおさか」、②「大阪自閉症支援センター」、③「児童デイサービスセンターan」、④「自閉症療育センターwill」の4つの事業を実施しています。第1回自閉症関連事業検討委員会を開催したのは今から約1年半前の平成16年5月ですが、この間に平成17年4月に「発達障害者支援法」が施行され、今まで福祉の施策の谷間にあった自閉症等の発達障害の方への支援に、ようやく法的な根拠が与えられ、行政的にも動きが見えてきました。この大事な局面にこそ、当法人の自閉症関連事業としても、日常の目の前の課題の解決に奔走するだけではなく、中・長期的ビジョンを持った上で、事業展開を図る必要があることを踏まえ、これまで4回の検討委員会を開催しました。16年度は、課題の洗い出しと、ニーズ把握から取りかかりました。17年度に入って、各事業の状況もかなり変化してきたこともあり、課題の再設定を行いました。今年度中にもう1回開催し、長期計画と単年度ごとの短期目標とを設定する予定にしていますが、現時点までの経過についてご報告させていただきます。

【当委員会メンバー】

新澤 伸子（法人評議員、自閉症支援部部長）
中村 節史（法人副理事長）
松上 利男（法人常務理事、萩の杜施設長）
谷岡とし子（自閉症支援部課長、大阪自閉症支援センター長）
福田 啓子（法人評議員、大阪自閉症支援センターを発展させる会 オアシス会長）

オアシスは平成14年にNPO法人「大阪自閉症支援センター」が北摂杉の子会と合併した際に、「大阪自閉症支援センター」の目的と事業を発展させるために結成された会で、会員数は自閉症児・者の家族を中心に約400名。学齢・広報・交流・収益・研修の各委員会を中心に積極的に活動している。

三宅 孝子（法人評議員、自閉症のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ会長）
はぐくみは高槻市を中心とした高機能自閉症・ア

自閉症関連事業検討委員会委員長

自閉症支援部 部長 新澤 伸子

スペルガー症候群を含む自閉症スペクトラムの子どもの親によって平成15年に結成された会で、会員数は約50名。自閉症の障害特性に応じた適切な支援を考えていくために、講演会や会員相互の学習会や交流会を行っている。

山本 忠（法人評議員、オアシス前会長）

【委員会発足当初の検討課題】

- (1) 「大阪自閉症支援センター」療育事業の安定的運営と人材確保について
- (2) 自閉症児療育・訓練強化事業の安定的運営について
- (3) 人材確保と人材育成について
- (4) 「大阪自閉症支援センター」、「アクトおおさか」の事業所整備について
- (5) 高槻市・大阪府におけるニーズ把握と必要とされる支援サービスの整備について

【16年度のまとめ】

1. 課題(1)については、「大阪自閉症支援センター」の療育部が、平成16年7月に大阪市から児童デイサービス事業の事業者指定を受け、「児童デイサービスセンターan」を開設することで、これまで療育費を全額自己負担していた利用者の保護者の方にとっては、支援費制度を利用できるようになり、一歩前進しました。しかし運営的には支援費のみの運営では、利用者のニーズに応えうるサービスの質の維持がむずかしく、今後の課題として、行政からの補助金等を得ることについて検討しています。
2. 課題(2)については、平成15年度から府の委託を受け実施してきた「自閉症児療育・訓練強化事業」が、平成17年度からは「大阪府自閉症・発達障害療育事業」として継続され、同時に、高槻市から児童デイサービス事業者の指定を受け、「自閉症療育センターwill」の名称で再出発しました。利用者にとっても支援費制度が利用できるようになり、運営側にとっても従来よりは安定的運営が期待できるようになりました。

3. 課題(3)については、療育スタッフの産・育休、パート職員の入れ替わり等により、毎年新人職員の養成を行ってはいますが、短期間で養成することは難しく、核となる常勤職員の計画的な人材育成およびパート職員の定着が課題です。16年度～17年度については、大学の研究室との連携によりパート職員およびボランティア学生の受け入れを行ってきましたが、今後も大学との連携についてより積極的に行いたいと考えています。

4. 課題(4)については、①「アクトおおさか」および「自閉症療育センターwill」が、平成17年3月に、よりアクセスのよい高槻市野見町へ移転したこと、②児童デイサービスセンターanが、十三(大阪市淀川区)に昨年11月に完成した新施設内に、知的障害者通所授産施設「ジョブサイトよど」(平成18年4月開所)と共に入居するため、18年4月に移転予定であること、により事業所の整備については改善が見込まれています。

5. 課題(5)については、16年10月にオアシス役員会が会員に対して実施したアンケート調査(回答数103人)によると、今後期待するサービスとして①余暇活動のグループ療育、②本人単独で利用できるデイサービス、③小学校高学年以上の療育サービス、④就労に関する相談事業、⑤夏休み中の療育等の項目について、回答者の半数前後の方が挙げておられました。また、現在のサービスの課題として①療育枠が少ない、②療育施設が狭い、③療育スタッフの数の不足などが挙げられました。このうち、夏休みの療育については平成17年度に「児童デイサービスセンターan」のサマープログラムとして具体化しました。また療育終了後のサービスについては、今後「ジョブサイトよど」の事業との関連で具現化していく予定です。

また、はぐくみからも会員への聞き取りにより、①教育や就労の場で、中学卒業後の進路先においても自閉症の特性に合わせた支援とサポート体制を求める、②乳幼児期から学齢期・青年期・成人期とトータルにサポートしてくれる支援システムの構築、③学校と保護者との連携だけでなく、医療や臨床心理士その他の専門家との連携も必要、などが挙げられました。

【平成17年度のとりくみ】

1. 課題の再検討

平成16年度当初の課題のうち、運営上の課題は、解決には至らないものの、前進が見られたため、オアシスやはぐくみからのニーズをお聞きする中で、次のように、課題の再検討を行いました。

課題(1) 「ジョブサイト」よどを拠点としたガイドヘルプ・ホームヘルプ事業の立ち上げ

課題(2) 青年・成人期のサービスの充実

・高機能自閉症やアスペルガー症候群の成人の就労支援

・「ジョブサイトよど」に続く成人期の受け皿の準備

・高槻地域における中卒後の支援の継続性

課題(3) 大阪市以南の人へのサービス提供—「大阪自閉症支援センター」および「児童デイサービスセンターan」の十三への移転に伴い、南部地域のオアシス会員のニーズにどう答えていくか。

課題(4) 医療との連携—早期診断から療育へのスムーズな移行や二次障害等により医療的ケアを必要とするケースに対するより適切な対応のため、医療機関との組織的な連携が必要である。

課題(5) 法人研修部門の立ち上げ—外部から法人に期待される教員や療育担当者に対する研修のニーズに対して、より積極的・組織的にとりくむため、法人に新たに研修部門を立ち上げ、「アクトおおさか」、「大阪自閉症支援センター」の研修事業との整理を行う。

2. 中・長期計画の策定と短期目標の設定

再検討された課題を基に、中・長期計画の策定と短期目標の設定を次回の検討委員会で行い、理事会にて報告する予定にしています。そのために、オアシス・はぐくみそれぞれの団体から、各課題についてのより具体的なニーズを挙げてもらうこと、障害者自立支援法の施行に伴ない法人内の各事業をどのように位置づけていくかといった他の部署の動きとも連動させながら、自閉症関連事業としての今後の方向性をより具体的に描いていきたいと考えています。



施設長就任のごあいさつ



ジョブサイトひむろ

施設長 ^{ひら}平 ^の野 ^{たか}貴 ^{ひさ}久

新年あけましておめでとうございます。

この度、「ジョブサイトよど」開設準備室長に就任しました佐々木の後任として「ジョブサイトひむろ」の施設長に就任いたしました平野でございます。宜しく願いいたします。以前、前身の萩の杜分場であった「工房ひむろ」開設時（平成13年度）に担当者としてお世話になったこともあり、再度「ジョブサイトひむろ」で利用者の皆さんと共に仕事ができますこと、大変嬉しく思っています。

「ジョブサイトひむろ」も分場であった「工房ひむろ」開設からしますと実質5年を迎え、大きな発展を遂げました。平成14年度には「工房ひむろ北」の開設。16年度には「通所部」の開設、そして平成17年度は「ジョブサイトひむろ」と名称を変え、通所授産施設としてのスタートを切りました。この間、利用者の支援にも着実に成果を挙げ、おひとりおひとりのご希望や特性にあった支援が展開されてきました。これはスタッフ一同の努力もありますがご家族の支えがあつてのことと存じます。後を引き継ぐ者として、身の引き締まる思いです。

さて、昨今の福祉を取り巻く情勢は急転を迎え、「ジョブサイトひむろ」の利用者の皆さんにはとつても大きな変化の年を迎えようとしています。4月からは利用者の皆さんには利用料の一部として、大きなご負担が強られることとなります。一方、私ども施設運営の立場といたしましても、厳しい状況は避けられず、今まで当たり前のように積み上げてきました実績やサービスの維持向上も困難な状況が予想されます。しかし、このような時期だからこそ、ご家族をはじめ関係諸機関の皆様との連携を深め、協力体制のもと、一步一步前へ踏み出せるのではないかと考えています。あくまで主役は利用者の皆さんです。皆さんそれぞれにすばらしい可能性を持っておられます。おひとりおひとりが、住み慣れた地域の中で生き生きと暮らし、“オンリーワン”の存在であり続けられますよう微力ながら努力していく所存です。

最後に、ご家族の皆様をはじめ、行政関係の皆様、関係諸機関の皆様、そして地域の皆様からのご指導、ご協力の程をお願い致しまして、就任のご挨拶と代えさせていただきます。



ちょっと工夫、 ちょっとアイデア



萩の杜 栄養管理担当

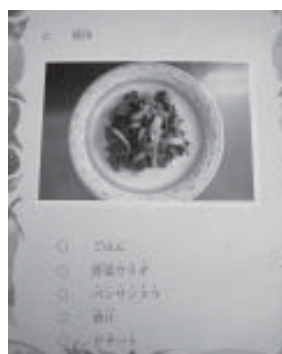
管理栄養士 服部 亜紀

「食事」は生活の基本であり、多くの方にとって生活の楽しみのひとつです。私たちは食べたいものを食べたい時に食べることができます。これも「選択」のひとつであると思います。しかし、施設での食事は、ある人にとっては好きな食事でも別の人にはそうでない場合があります。だからといって“選択肢がない”ので他のメニューを選ぶことができません。また、利用者の皆さんの中には、例えばレストランに外出に出かけ、メニューを前にしても、“選択することの経験の少なさ”から食べたいものを選択することが難しい方がいるとよく支援員から聞きます。集団生活だからそれも仕方ないとあきらめるのではなく、できる限り私どもも努力して、利用者の皆さんの生活の質の向上を目指して、施設の食事の中から好きなものを自分で選ぶ、「選択食」を実施することにしました。

これまで掲載させていただいた「ちょっと工夫・ちょっとアイデア」から少しジャンルが異なってしまうかもしれませんが、萩の杜の食事に関する「ちょっと…」を紹介させていただきます。

1. ふりかけとジャムの選択

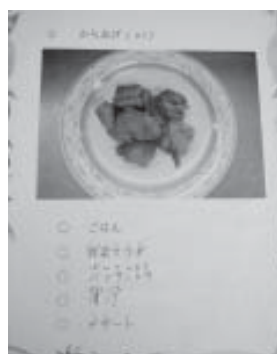
朝食はごはん食とパン食の交互にしています。そこで、ふりかけとジャムを選択していただくことにしました。ふりかけ5種類から好きなものを1つ、ジャム4種類から好きなものを1つ選択していただくことにしています。いずれは、ドレッシングやソースなども選択に取り入れたいと思っています。また、パン食とごはん食も利用者の皆さんの嗜好にあわせて適宜変更していています。



2. 食事の選択

萩の杜は1グループ12.3名の4つの小グループに分かれて生活しています。その為、選択食も各グループで実施しています。まず担当支援員からグループ内の利用者の皆さんの好きなものから希望メニューをいくつか提案していただきます。そこからメニューを3種類ほどに絞りメニュー表を作成します。メニュー表は、各利用者の皆さんの特性に配慮して、視覚的にも理解しやすいよう写真や文字を取り入れています。また、メニュー表はレストランのようにあれもこれもメニューが載っているのではなく、種類づつ作成しています。しかし、食材発注などの準備の都合上、選択食実施日の3～5日前に選択していただくことになり、選択してすぐその日に料理が食べられないので、「自分が選択した食事」というのが理解しにくいのではないかと考えました。そこで、メインメニュー以外で準備に日数がかからないデザートを当日その場で選択していただくことにしています。

まだ実施回数が少ないので、問題点を改善しながら回数を重ね、少しでも「選択」の機会を増やし、施設でも地域でも、「自分が食べたいものを食べられる」ように支援していけたらと思います。また、生活上のさまざまな「選択」することの経験につながっていけばいいなと思います。



掲 示 板

(平成17年9月から11月まで)

法人本部 総務部 掲示板

9月2日 「ジョブサイトよど」 第2回説明会 (参加40名)

9月3日 法人全体研修

①個人情報保護への取り組み 講師 安達社会保険労務士

②成年後見制度のあらまし 講師 辻川 弁護士

③障害者自立支援法について 講師 松上 萩の杜施設長

9月30日 会計事務の税理士法人委託を止め。

10月より、総務部にて行う。



「JSよど」概観

10月5日 高槻市実地指導 「グループホームとんだ」

「ショートステイセンターぶれす」

11月16日 高槻市指導監査 「ジョブサイトひむろ」

11月17日 高槻市指導監査 「萩の杜」

11月20日 第35回理事会・第15回評議員会「ジョブサイトよど」にて開催

決議事項 第1号議案 平成17年度補正予算の件

第2号議案 嘱託職員・パートタイマー職員の就業規則設定の件

第3号議案 表彰規定設定の件

第4号議案 復帰専用居室およびB・Dグループ援助員室の整備について

決議事項は、満場一致で承認されました。

報告事項として

1) ジョブサイト よどに関するUFJ銀行からの借入の件 (条件)

2) Kプロジェクト活動報告 新給与制度導入の件

上記2項目をご報告いたしました。

理事会・評議員会終了後、「ジョブサイトよど」

の竣工式を執り行いました。

お知らせ 10月から11月にかけて高槻市と大阪市から社会福祉施設等における吹付けアスベスト(石綿)の調査があり対象施設を専門業者に調査を依頼いたしましたところ、安全が確認されました。



第35回理事会・第15回評議員会

萩の杜 掲示板

- 9月1日 Aグループミーティング
 2日 日帰り旅行(南楽園：堺市)
 9日 自活訓練ミーティング
 16日 日帰り旅行
 (ホテル阪急エキスポパーク、万博公園)
 28日 旅行委員会

- 10月2日音楽療法
 8日 萩の杜支援課会議
 16日 音楽療法
 20日 宿泊旅行(赤穂海浜公園)
 21日 宿泊旅行(神戸フルーツフラワーパーク)
 26日 余暇委員会

- 11月 2日 旅行委員会
 3日 宿泊旅行(白浜アドベンチャーワールド)
 4日 宿泊旅行(白浜アドベンチャーワールド)
 6日 音楽療法
 10日 宿泊旅行(赤穂海浜公園)
 11日 宿泊旅行(神戸フルーツフラワーパーク)
 17日 行政監査
 24日 余暇委員会
 25日 自活訓練ミーティング

(河坂 記)

赤穂海浜公園



南楽園



白浜



ジョブサイトひむろ 掲示板

ジョブサイトひむろ一泊旅行

9月29日、30日の二日間で「J S ひむろ」の一泊旅行を行いました。

バス組は利用者22名、スタッフ15名の総勢37名で岡山県の鷺羽温泉へ向かいました。1日目は、鷺羽山ハイランドで楽しみました。瀬戸大橋が一望できる高台にある遊園地です。昼食を食べてからグループ別に乗り物に乗る人、ブラジルのカーニバルのショーを見る人など思い思いに過ごしました。その後宿に入り、ゆっくりお風呂に入ってから夜の宴会となりました。恒例のカラオケタイムで盛り上がりました。宴会がお開きになってから、ロビーにて和太鼓のショーがあり、自由参加コーナーで利用者の方も大きな太鼓を力強くたたき大拍手をもらっていました。日ごろなかなか体験することの出来ない機会に大いに楽しまれました。翌日は姫路のセントラルパークへ。まずはサファリパークでいろんな動物を見た後、昼食、そして遊園地のゾーンへ。サーカスを見て楽しまれた方もたくさんいました。

公共交通機関組は、利用者12名、スタッフ4名で三河温泉へ行きました。新幹線で変わりゆく景色を見ながら豊橋から普通電車でテーマパークのラグナシアに到着しました。おいしいバイキングで昼食をすませた後、乗り物に乗ったり買い物をしたりにぎやかに楽しみました。夜の三河温泉では、利用者、スタッフによるマツケンサンバでおおいに盛り上がりました。2日目はデンパークでのんびり過ごしみんな満足して帰ってきました。

あっという間の2日間でしたが、病気やけがもなく、皆さん無事に戻って来る事ができたことが、何よりものお土産になったと思います。

回を重ねるごとに旅行の見通しがついて、混乱なく参加できるようになった方もおり、また、体験することで余暇の選択肢が増えていけばと思います。

日頃、ひむろ内での作業が多い中、一緒に働いている仲間と少しのんびりできたひと時だったのではなかったかと思います。

(佐々木 記)

自閉症支援部掲示板

- 9月15日 日本自閉症協会大阪府支部臨時役員会に松上、新澤出席。「アクトおおさか」の活動報告および「大阪府発達障害団体ネットワーク」について説明。
- 10月6日 大阪府発達障害団体ネットワーク第2回ネットワーク会「特別支援教育の動向を学ぶ」事務局を担当。71人参加。
- 10月～11月 「自閉症理解のための4回連続講座・幼児・学齢期の支援」開催 71人受講。
- 11月4日 大阪府発達障害者支援対策連絡協議会 新澤出席。
- 11月12・13日 発達障害者支援センター全国連絡協議会（於 横浜）新澤・高橋出席 実践報告「自閉症eネットのめざす3つの'e'」（高橋）
- 11月29日 大阪府成人期発達障害支援機関 第2回連絡会 新澤・高橋・古東出席。
- 12月1日 正式名称が「大阪府発達障害者支援センター」に名称変更となる。
- 12月2日 大阪府健康福祉部精神保健福祉課 野田課長、溝淵総括主査 アクトおおさかおよび自閉症療育センターwillを視察。

○児童デイサービスセンター an

- 10月28日 平成18年度児童デイサービスセンターan療育児募集に関する保護者説明会開催。67家族参加。
- 11月10日 療育児募集締め切り
- 11月21日 療育児決定通知発送（平成18年度新規療育児 就学前児12人、小学生6人）

○大阪自閉症支援センター

- 10月より 平成17年度公開基礎講座開始（2月まで月1回実施）。49人受講（新澤 記）

萩の杜家族会掲示板

子供達が健康で1人1人が大切にされ豊かな生活を送ることが親の願いです。施設では、日頃から職員の皆さんがその願いに応じてくれている様子がよく分かり本当に感謝しています。私達は家族会として親が自分の出来ることで施設のバックアップをしたいと常々考えています。

この秋はこれまで以上に家族会は資金づくりに積極的に活動しました。10月中旬～11月6日までバザーを立て続けに行い、短期間で50万円以上の収益を上げました。9月初め、数名の母親達が「アクト大阪」の下の喫茶「カン」でコーヒーを飲みながらおしゃべりをしました。「バザーの他に毎年定期的にお金が入ることがあるといいね。カレンダーを作って年末に販売するのはどうかな。実現出来たらいいけど…。」そんな話の後、中旬に島本町の福祉センターで第10回の竹紙展を見に行き八幡崇典さんの作品に出会ったのです。八幡さんはうちの息子の高槻養護の1年先輩です。自閉症という障害をもちながら、素晴らしい才能を同時に持ち合わせているようです。ご両親が彼の力を

信じ引き出し継続して支えて来られた成果だと感じました。自ら竹から紙を作りその上に描いたほのぼのとした絵とそれにマッチした優しい文字に私達はひどく感銘を受けました。と同時にこれをカレンダーにしたいと見学参加者一同が盛り上がったのです。幸いにも、母親の八幡さんが快く原画の提供を承知して下さいました。その上、印刷も1ヶ月で出来るということでとんとん拍子に事が運び1000部のカレンダーの製作、販売を資金づくりにすることになったのです。

なんとか11月25日に出来上がりました。上々の出来だと思えます。限られた時間にこんなに早く事が運んだのに驚いています。「念ずれば通ず」はこんなことなのでしょう。

カレンダーの販売は、法人全体で取り組みました。可愛い絵柄なので保育所にも販売に回り、大変好評。意外に早く完売しました。お買い上げ下さった皆さん、一年間楽しんで下さい。

- 9月4日 役員会
- 8日 サークルはぎ 造花チューリップ 座椅子（はぎれ利用）（牛乳パック利用）の製作
- 15日 ホットトーク 松上先生と保護者による？自由な話し合い

- 25日 定例会 カトリック教会、花販売
 26日 サークルはぎ
 10月5日 臨時役員会 カレンダーの作成・販売について
 10日 バザー品値付け
 13日 サークルはぎ
 18日 }
 19日 } 紙風船バザー (リサイクル品・食料品)
 20日 }
 21日 ホットトーク
 23日 草刈り 28名参加 利用者玄関の窓ふき、中庭の清掃も
 24日 サークルはぎ
 28日 定例会 カレンダーの販売協力依頼
 30日 カトリック教会バザー (食料品、切花、鉢植え)
 11月3日 希望の杜バザー (高槻) 光の教会バザー (茨木) (リサイクル品 手づくりケーキ等)
 6日 奥坂コミセンバザー (食料品、リサイクル品、切花、鉢植え)
 10日 サークルはぎ
 13日 役員会 カレンダーの販売 今後のバザーについて
 16日 府会議員に陳情 施設前に横断歩道、信号設置のお願い、萩谷公園駐車場有料化について
 21日 市、警察の立ち合い、横断歩道設置について
 25日 定例会
 26日 高槻養護学校バザー、食料品、萩谷のもち、カレンダー販売
 27日 カトリック教会 花販売 カレンダー販売
 28日 サークルはぎ (広報部 今村記)

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

- | | | | |
|--------|---|--------|--|
| 9月13日 | 役員会
たかつきふれあいバザー参加について。
障害者自立支援法の概要について。
その他 | 11月17日 | カレンダーの販売内容と取り組みについて。
定例会
障害者自立支援法の課題と問題点について。
カレンダーの拡販について協力要請。 |
| 9月17日 | 定例会
たかつきふれあいバザー参加の件。
障害者自立支援法の概要と問題点について。
後援会加入促進について。 | | 平成18年度の法人新体制について説明
(佐々木施設長)
「父親の会」企画開催についてアンケート調査実施。 |
| 10月22日 | たかつきふれあいバザーに出店 (高槻市役所前) | 11月20日 | 理事会・評議委員会出席 (沖本会長) |
| 23日 | | 11月26日 | ノロウイルス発症者の件で緊急連絡。
(家族会電話連絡網にて実施) |
| 10月26日 | 役員会
「父親の会」開催の件。 | | (沖本 記) |

法人へのご寄付に感謝します (2005年9月1日～11月末日)

山口甫 (有) 幸英不動産

後援会ご入会と会費納入に感謝します (2005年8月26日～11月22日)

山内千鶴子 安部勢津子 山里文男 安部美和 今村圭子 松井潔 中嶋浩子 今村一二三 渡辺洋子
林堅一 岩敬子 谷口千代子 平山寿美子 小川祥子 小川敏夫 大野忠春 大野容子 大野昭彦 大野捷昭
大野博美 大野晴夫 岩忠 岩富美枝 岩弘子 岩愛子 富坂昭子 富坂健治 大野博夫 中井淑子
和泉和子 土屋志づか 下川八重子 今井恵美子 井上惇子 小林和美 小林夏子 倉本周 徳本晴美
荒川睦 中村豪史 中村悦子 中村節史 長谷川ひろみ 田中由紀子 中村義昭 四方あかね 長尾あゆみ
長尾京子 長尾幸一路 長尾杏奈 長尾智久 牧野金之丞 矢橋美智子 矢橋ひとみ 矢橋仁子 矢橋寿満子
中尾泰子 矢橋寿樹 矢橋博志 矢橋雅文 鈴木久美子 藤澤千恵子 藤澤一雄 坂本啓子 東富美代
上原勝 山根裕史 小林文男 浦吉フミ 吉原重子 小林泰弘 山下隆司 荒木洋子 小澤智巳 山根生江
笹井八郎 中村忠雄 山口博 山口秀子 森芳春 高宮郁子 西原清二 森典子 森正輝 西原尚史
西原香織 西原律子 西原圭一 森洋見 森泰雄 東敬司 井田進 佐藤和男 佐藤敏子 佐藤由美
秋永香織 秋永隆 豊澤進 長尾昭 高原由江 高原正義 高原加代子 渡辺孝 中村 操

後援会へのご寄付に感謝します (2005年8月26日～11月22日)

森上一二 上田博 橋川靖子 荒木洋子 亀沢京子 雀部昌子 濱地 田中宏明

家族会へのご寄付に感謝します

森田豊子 池田美恵子 道上春子 長尾キヨ子 山之口チャ子 ほか弁園田店 深尾 諸富信子 田口
唐渡洋子

物品のご提供に感謝します

山口 福田節子 吉本 藤岡 中村 梶原明子 成田敬子 荒木良輔 武田保久 白子好子 藤本寿子 正原
嶋田 横須賀 金森 坂本 岡本 永田 小林夏子 佐伯 森谷 山根 松尾 角田 盛口 上里 月岡
山口多恵子 岡田公子 宮川妙子 竹内 平井 吉田尋美 永井康允 前田富士江 吉川 三谷恭子
手嶋節子 村上繁子 富田カズミ 大橋 松岡 笠原 北昌 稲泉 法橋 不二園芸

ボランティアに感謝します

ほかほか弁当園田店 松木咏子 岡本敦子 佐々木映世 森田幸子

(敬称略 順不同)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお
願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

記

1. 寄 付 金		円
2. 個 人 会 員	年間一口	2,000円
3. 団 体 会 員	年間一口	10,000円

お振込みは下記口座まで、もしくは、同封の振込用紙をご利用下さい。皆様のご支援とご協力をよろしくお願
い致します。



郵便振込口座 北摂杉の子会 00920-8-90859



社会福祉法人北摂杉の子会

TEL (072) 662-0055 FAX (072) 662-0056
[E-Mail] act-osaka@nifty.com
[URL] <http://homepage3.nifty.com/actosaka/>

知的障害者生活施設 萩の杜

ショートステイセンター ぶれす
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] haginomori@nifty.com
[URL] <http://homepage3.nifty.com/suginokokai/>

知的障害者通所授産施設 ジョブサイトひむろ
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL&FAX(072)697-2234 [E-Mail]andante-himuro@nifty.com

生活支援センター あんだんて
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072) 697-2233 FAX (072) 697-2234
[E-Mail] andante-himuro@nifty.com

大阪府発達障害者支援センター アクトおおさか
〒569-0077 高槻市野見町3-14第2高谷ビル2F

自閉症療育センター will
〒569-0077 高槻市野見町3-14第2高谷ビル2F
TEL (072) 662-0100 FAX (072) 662-0056
[E-Mail] will50@nifty.com

大阪自閉症支援センター

児童デイサービスセンター an
〒558-0004 大阪市住吉区長居東2-2-4加島ビル3階
TEL (06) 6607-2249 FAX (06) 6696-8613
[E-Mail] oasc2002@m08.alpha-net.ne.jp
[URL] <http://www.aa.alpha-net.ne.jp/oasc2002/>

グループホーム とんだ
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14

グループホーム みやた
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1

地域生活

発行人 社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 今村一二三 発行所 北摂杉の子会 住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1
発行日 2005年1月10日



定価 100円
再生紙を使用しています。